

I 第9週の発生動向 (2007/2/26~2007/3/4)

1. 咽頭結膜熱については、八戸、むつ保健所管内において、第50週から**警報**が継続しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、弘前保健所で新たに**警報**が、東地方+青森市保健所管内では第5週から、むつ保健所管内では、第49週から**警報**が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内において、第3週から**警報**が継続しています。
4. 感染性胃腸炎については、増加傾向にあることから、今後も引き続き注意が必要です。
5. インフルエンザについては、急激に増加してきました。詳細については、[インフルエンザ情報](#)に掲載しています。

II 第9週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(72) インフルエンザ	135	9.64	78	5.20	82	5.86	21	3.00	177	19.67	26	4.33	519	7.98	301	3	1.50	132	11.00
(59) RSウイルス感染症	1	0.11	6	0.67			4	0.80					11	0.26	-5	1	1.00		
(60) 咽頭結膜熱	2	0.22	1	0.11	26	2.89			8	1.33	6	1.50	43	1.02	8			2	0.25
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	3.89	40	4.44	12	1.33	1	0.20	11	1.83	24	6.00	123	2.93	-11	1	1.00	34	4.25
(62) 感染性胃腸炎	45	5.00	40	4.44	13	1.44	16	3.20	15	2.50	26	6.50	155	3.69	26	5	5.00	40	5.00
(63) 水痘	20	2.22	6	0.67	12	1.33	2	0.40	5	0.83	2	0.50	47	1.12	-23			20	2.50
(64) 手足口病									2	0.33			2	0.05	0				
(65) 伝染性紅斑	3	0.33	2	0.22	2	0.22	4	0.80	6	1.00	21	5.25	38	0.90	15	1	1.00	2	0.25
(66) 突発性発しん	2	0.22	3	0.33	3	0.33	2	0.40	4	0.67	4	1.00	18	0.43	5	1	1.00	1	0.13
(67) 百日咳					1	0.11							1	0.02	0				
(68) 風しん															0				
(69) ヘルパンギーナ	3	0.33	1	0.11									4	0.10	3			3	0.38
(70) 麻しん(成人を除く)															0				
(71) 流行性耳下腺炎	16	1.78	21	2.33	10	1.11			15	2.50	6	1.50	68	1.62	8			16	2.00
(73) 急性出血性結膜炎															0				
(74) 流行性角結膜炎			1	0.33	3	1.50	1	1.00					5	0.45	-1				
(82) マイコプラズマ肺炎					8	8.00					3	3.00	11	1.83	0				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

は警報
 は注意報
 「空欄」: 患者発生数 0

感染症の窓

腸管出血性大腸菌感染症 総まとめ

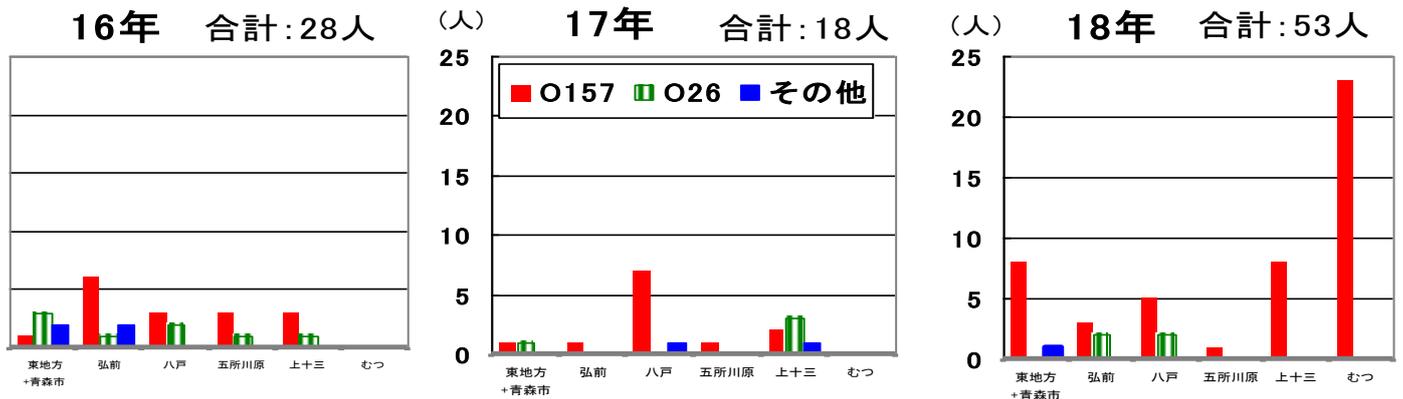
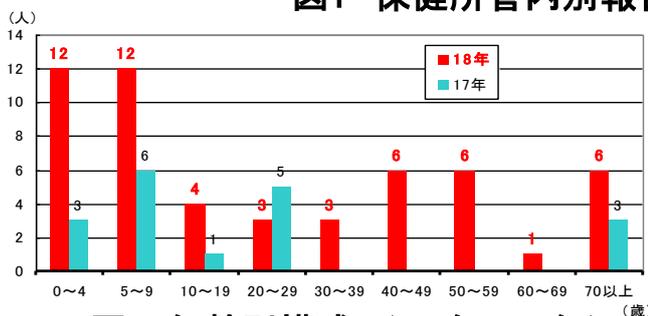


図1 保健所管内別報告数内訳(16年~18年)



平成18年は、過去3年間において最も多い報告数で、その多くは7月上旬、むつ保健所管内における牧場のふれあい体験を原因とする集団感染事例が発生したためでした(図1)。この事例は、小児対象の行事で発生したことから、年齢別構成では、9歳以下の報告数が全体の約45%を占めています(図2)。